

1. 総合科目 I (フレッシュマン・セミナーを除く)

初年次導入科目

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
I-1	1210221	おもてなし学・グローバルマナー概論～スポーツボランティアを展望して～	1	1.0	1	春AB	月1	5C416	江上 いずみ	・国際人として、自国の文化と歴史、礼儀作法の成り立ちを理解し、正しく伝えられる知識を身に付ける ・また諸外国の習慣やマナーを尊重して、異文化コミュニケーションの原点を理解する ・言語や宗教、文化や歴史が違えばマナーもまた国によって異なるのは当然である、という認識のもと、互いの習慣やしきたりの違いを尊重しあって基本となるプロトコールの原則を心得る ・2020年東京大会に向けて開催国日本のボランティアとして必要なグローバルマナーを学ぶ	(体育開設) 【受入上限数120名】
I-2	1222011	セルフ・ヘルス・ケア	1	1.0	1	春AB	月2	2B412	森 千鶴, 柴山 大翼, 岡本 紀子, 日高 紀久江, 笹原 朋代	本科目は、人々の健康を考えることが目的である。看護学の各領域の専門家がそれぞれの立場から、健康の概念や、人々が健康な生活を送るための社会資源のあり方について学習する。また、人々が健康な生活を送るためには、一人一人のセルフケア能力を高めることが大切であり、そのための具体的な方法について学習する。	(看護開設) 看護学類以外の学生を優先する 【受入上限数120名】
I-3	1226021	心と体に安全で快適なキャンパス1-こころのウェルネス実践講座-充実した学生生活を送るために	1	1.0	1	春AB	月5	2B411	太刀川 弘和	この授業では、充実した学生生活が送れるように、大学生が学生生活の中で出会う様々な問題を取り上げながら、それに対処するための知識とスキルについて学習することを目的としています。具体的には、大学生が抱える様々なこころの問題や病気を、身近な事例や文学、映画、社会現象などを通じて心理学と精神医学を基に学習し理解を図るとともに、実際のスキルトレーニングなども行っていきます。	(保健管理センター企画) 【受入上限数200名】
I-4	1205011	地球規模課題へのアプローチ	1	1.0	1	春AB	月6	3A402	関根 久雄	国際社会は、2015年に国連総会で採択された持続可能な開発目標(SDGs)をもと、2030年までに「誰一人取り残さない(no one will be left behind)」社会を実現するため、経済、社会、環境など、様々な分野の広範な課題に統合的に取り組んでいる。SDGsには17の開発目標が設定され、先進国、途上国を問わず各国政府、地方自治体、民間企業、NGO、有識者をはじめ、私たち一人ひとりが、それぞれの立場で役割を果たすことが求められている。 とりわけ国連機関は、それぞれの専門分野における知見と技術、ネットワーク、実績をもとに様々な分野のパートナーとの連携、協働を推進すべき中心的な役割を期待されている。その活動は、国や組織の枠を超え、グローバルな視点でリーダーシップを発揮する人材によって支えられている。 本講義では、主として国連機関において地球規模課題に取り組む人々の実践的な話を通じて、履修学生が自らのキャリア形成について学び、国連での就業一つの選択肢として考える機会を提供することを目的とする。	(国際開設) 【受入上限数120名】
I-5	1226041	みんなで創ろう「つくばアクションプロジェクト」	1	1.0	1	春AB	月6	3A403	田中 博, 黒田 卓哉	自分の興味や関心を活かし、自らが主体的に関わりたいと思える活動を企画し、それを実現するための方法について学ぶことが本授業の目的です。そのために、つくばアクションプロジェクト(T-ACI)という学生支援制度について知ってもらいます。また、新しい人間関係の構築もこの講義の狙いです。 したがって、講義の他にワークやグループワークなども行い、自分たちの「やってみよう」を形にしていこうとなります。個人ワークは、ワークシートを用いて自己を振り返り、自己理解を深めるようなワークを行います。グループワークでは、初対面の様々な学生とコミュニケーションを取り、自己理解と他者交流についての体験的な理解を深めます。また、学類間の垣根を越えてチームを組み、ひとつの企画を立案していくことが求められます。したがって、既に固定された友人関係などの枠にとらわれず、初対面の様々な他者と交流し、一緒に課題に取り組むこととなります。これらのワークに関しては、授業時間以外の活動が必要となる場合も多いと予想されます。グループワークを通じて立案された企画について、授業の後半にてチームごとの発表を行います。パワーポイントを用いて、受講生の前でプレゼンテーションを行うという形式となります。これらの取り組みに関して、授業時間以外であってもワークの指導や支援を講師に頼むことが可能です。 皆さんの学生生活がより爽り多きものになるための一つのきっかけとして、本授業に取り組んでいただくことを期待しています。	(学生生活支援室企画) 秋学期(1226091)と同一内容のため、重複履修は不可。 【受入上限数120名】
I-6	1226031	障害のある学生とともに学ぶ共生キャンパス～障害者スポーツボランティア基礎講座～	1	1.0	1	春AB	水6	2B412	竹田 一則	障害のあるなしにかかわらず全ての学生が豊かな学びを共有できる共生キャンパス実現のために、障害に関する理解を深め、障害者への適切な支援に関する知識を得ることを目的とする。障害学生・支援学生にも授業に参加してもらい、障害学生の支援について具体的に考えるきっかけとしたい。	(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター アクセシビリティ部門企画) 【受入上限数150名】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
I-7	1226051	筑波大学特別講義—大学と学問—	1	1.0	1	春AB	水6	大学会館講堂	佐野 伸行, 宮村 新一, 後藤 嘉宏	<p>本学の学長をはじめとする経験豊かな講師陣が、大学と学問、あるいは学問と人生について広いテーマで講義を行う。本講義は、大学で学ぶことや自分の今後の生き方についてじっくりと考えてみる機会を受講生に提供するとともに、明確な目的意識をもって自律的に学習していくことができるように、大学生生活と学問への道案内をすることを目的とする。さらに、学長をはじめ本学に関係する優れた研究者が、自らの学問と人生体験を語ることにより、日本および世界において次世代の指導者となりうる有能な若者を育成する機会とする。</p>	(教養教育機構企画)
I-8	1226011	ワーク・ライフ学-男女共同参画とダイバーシティ-	1	1.0	1	春AB	木6	3A202	河野 禎之, 秋保 さやか	<p>産業構造が急速に変化し、人々の生活文化、家族のあり方や社会が変容する中、我々はどうのように仕事と生活を両立させていくべきなのか。個人や個人をとりまく人間関係、組織や地域社会では、どのような問題が生じているのか。ワーク・ライフ・バランスの視点をいながら、現代の社会現象を「男女共同参画」「ダイバーシティ」をキーワードにその解明と解決に向けて学ぶ。具体的には、仕事や家庭、地域生活において、多様な生き方を容れ、自分らしい生活を実践できるよう、「働き方」や「生き方」を見つめ直すとともに、就職・結婚・出産・子育て・介護等のライフイベントを題材に、グループで意見交換を行いながら、生きる力、社会力を身につける。</p>	(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター ダイバーシティ部門、教養教育機構企画) 平成24年度までの「「仕事と生活」と男女共同参画」WLBを軸に未来予想図を描こう」及び平成27年度までの「ワーク・ライフ学Ⅰ-「仕事と生活」と男女共同参画」に相当するため、これらの授業の履修者による重複履修は不可。 【受入上限数120名】
I-9	1226151	世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる連続リレー講義:社会基礎学—グローバル人材に不可欠な教養Ⅰ—	1	1.0	1	春AB	集中	春日講堂	野村 港二, 坪内 孝司	<p>いま世界では、新興国の急成長、産業や市場のボーダレス化、ICT技術の進歩などにより、人材や情報、資金が国境を越えて行きか、同時に国や都市・地域間の競争が激化しています。一方で少子高齢化や地球規模での環境問題、資源エネルギー問題など、世界を取り巻く様々なグローバルアジェンダに対処していくことも求められています。この時代を生き抜く学生は、「人・社会・国に尽くす、更には国際社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励み、一方でこの講義で読『社会基礎学』の習得が必要不可欠と考えます。本リレー講義では、社会基礎学とは何かを探求し、全学群生を対象に、今後の大学生生活で身に付けるべき知識、教養、想像力や構想力向上をサポートします。具体的には以下の6分野にプライオリティを置き、産業界・官界・政界のトップリーダーがリレー講義を実施、皆さんとともに考えます。 1「グローバル化と日本のあり方」、2「政治・政策」、3「安全保障・憲法」、4「経済・産業」、5「資源・エネルギー」、6「世界/アジア」(順不同)</p>	(教養教育機構企画)(教育企画室企画) 【受入上限数200名】
I-10	1226071	世界のTSUKUBAで学ぶ	1	1.0	1	秋AB	月1	3A312	大友貴史	<p>グローバル化が急速に進む中で、本学は「国際性が日常化した大学環境の実現」並びに「知の世界拠点として世界と共生する大学」を目指している。本科目の目的は、第一に、本学の国際化の方向性と実情、並びに筑波大学と世界との関わりを知ると共に、筑波研究学園都市という特徴のある地域社会の中で学ぶことの意義を考えることにある。第二に、日本が置かれている国際的な環境と日本がこれまで世界で行ってきた数々の貢献を知ることにより、筑波大学において皆さんが今後どのような意識を持って学ぶかについて、あらためて考える機会を提供することである。このように、本授業は今後学生生活の方向性を定めるきっかけとしてだけでなく、卒業後の進路を考える上での材料を提供することを目標としている。</p>	(教養教育機構企画) 【受入上限数120名】
I-11	1226121	心と体に安全で快適なキャンパスII救命救急処置とファーストエイド	1	1.0	1	秋AB	月1	5C307	久賀 圭祐	<p>学生生活でよく出会う身体の不調や症状、病氣、捻挫や骨折などの外傷、温熱や化学物質による熱傷、環境要因による障害、中毒、感染症などをわかりやすく学ぶとともに、予防法や自分でも出来る応急処置について学習します。またAEDの使用も含めた救命救急処置について、授業による知識だけでなく、マネキンやAEDのトレーニングキットなどを十分に使った実習を行い実技を習得します。これで得たスキルは一生役立ちます。</p>	(保健管理センター企画) 実技があり実技に使うトレーニングキットの数および教員の指導可能人数に限りがあるため、受講上限数を40名とする。 【受入上限数40名程度】

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。

整理番号	科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
I-12	1220011	知の探検法	1	1.0	1	秋AB	月2	1D301-1	宇陀 則彦, 辻慶太	一流の研究者、一流のジャーナリスト、一流の作家は調べ物の楽しさを知っています。彼らは知の探検家なのです。知の探検に必要な道具はすべて図書館に揃っています。筑波大学附属図書館は最先端をいく図書館です。本科目では、知の探検に不可欠な情報探索ツールの使い方を重点的に学びます。	(知識開設) 知識情報・図書館学類学生の受講は認めない。(1220021)と同一内容のため、重複履修は不可。 【受入上限数80名】
I-13	1207011	ピア・サポートを学ぶ～支えあいの大学のために	1	1.0	1	秋AB	月5	2B412	杉江 征, 田附あえか, 田中崇恵, 慶野 遥香	本科目では、ピア・サポートの理念や実際に行われている活動を講義形式で学ぶ他、多くのワークを通してコミュニケーションスキルや実際に筑波大学の中で必要なピア・サポート活動をプランニングしていく力を養い、ピア・サポーターになるための基本的な心構えとスキルを身に付けていく。	(心理開設) 【受入上限数120名】
I-14	1226081	障害のある学生とともに学ぶ共生キャンパス～障害者スポーツボランティア基礎講座	1	1.0	1	秋AB	月6	2B412	竹田 一則	障害のあるなしにかかわらず全ての学生が豊かな学びを共有できる共生キャンパス実現のために、障害に関する理解を深め、障害者への適切な支援に関する知識を得ることを目的とする。障害学生・支援学生にも授業に参加してもらい、障害学生の支援について具体的に考えるきっかけとしたい。	(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター アクセシビリティ部門企画) 【受入上限数120名】
I-15	1226091	みんなで創ろう「つくばアクションプロジェクト」	1	1.0	1	秋AB	月6	5C416	田中 博, 黒田卓哉	自分の興味や関心を活かし、自らが主体的に関わりたいと思える活動を企画し、それを実現するための方法について学ぶことが本授業の目的です。そのために、つくばアクションプロジェクト(T-ACT)という学生支援制度について知ってもらいます。また、新しい人間関係の構築もこの講義の狙いです。 したがって、講義の他にワークやグループワークなども行い、自分たちの「やってみよう」を形にしていこうとなります。個人ワークは、ワークシートを用いて自己を振り返り、自己理解を深めるようなワークを行います。グループワークでは、初対面の様々な学生とコミュニケーションを取り、自己理解と他者交流についての体験的な理解を深めます。また、学類間の垣根を越えてチームを組み、ひとつの企画を立案していくことが求められます。したがって、既に固定された友人関係などの枠にとらわれず、初対面の様々な他者と交流し、一緒に課題に取り組むこととなります。これらのワークに関しては、授業時間以外の活動が必要となる場合も多いと予想されます。グループワークを通じて立案された企画について、授業の後半にてチームごとの発表を行います。パワーポイントを用いて、受講生の前でプレゼンテーションを行うという形式となります。これらの取り組みに関して、授業時間以外であってもワークの指導や支援を講師に頼むことが可能です。 皆さんの学生生活がより実り多きものになるための一つのきっかけとして、本授業に取り組んでいただくことを期待しています。	(学生生活支援室企画) 春学期(1226041)と同一内容のため、重複履修は不可。 【受入上限数120名】
I-16	1226101	卒業生によるオムニバス講座(社会人としていかに生きるか)	1	1.0	1	秋AB	木6	2H101	岡 典子	一口に「社会人」というが、彼らは何を考えたどのような生活をしているか、実際に社会で活躍している先輩達の経験から、社会人を目指す学生がこれからの学生時代の過ごし方について考える。	(総合科目編成部企画) 【受入上限数200名】
I-17	1220021	知の探検法	1	1.0	1	秋C	月1,2	1D301-1	宇陀 則彦, 辻慶太	一流の研究者、一流のジャーナリスト、一流の作家は調べ物の楽しさを知っています。彼らは知の探検家なのです。知の探検に必要な道具はすべて図書館に揃っています。筑波大学附属図書館は最先端をいく図書館です。本科目では、知の探検に不可欠な情報探索ツールの使い方を重点的に学びます。	(知識開設) 知識情報・図書館学類学生の受講は認めない。(1220011)と同一内容のため、重複履修は不可。 【受入上限数80名】
I-18	1224011	筑波大学と嘉納治五郎～逆らわずして勝つ～	1	1.0	1	秋C	月1,2	5C416	真田 久	東京高等師範学校の校長を23年半も務めた嘉納治五郎は、柔道の創設・普及はもちろん、教育改革や留学生教育、そして日本のスポーツの推進などに尽力した。また、アジア人初の100委員として、世界を駆け回り、オリンピック・ムーブメントの推進にも貢献した。嘉納治五郎の幅広い行動と理念について学ぶとともに、筑波大学に流れる嘉納のレガシー(遺産)を見いだす。	(体育開設) 【受入上限数120名】
I-19	1290012	Career Development in Global Context	2	1.0	1・2	秋C	月2,3	3A304	五十嵐 浩也	This course is designed for both international students and Japanese students to explore their potential career by facilitating their understanding of self and culture and improving their intercultural communication skills. The course will be offered in English. As active participation in class is valued and group tasks are assigned throughout the course, students are expected to be able to communicate in English. However, those with limited English skills who are highly motivated to learn to communicate in English and with other students with diverse cultural backgrounds are welcome to register. Note: Only students who are present at the first class can register for this course.	Limited to 60 students. 英語で授業。 CDP (ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター企画)

※教室は、受講調整の結果等により変更の可能性があります。
変更のあった教室は掲示により周知しますので、必ず各支援室掲示板を確認してください。